

しまんちゅ
奄美を読む！島人情報誌

にちじょうどっとこむ

日常.com

毎月1回発行

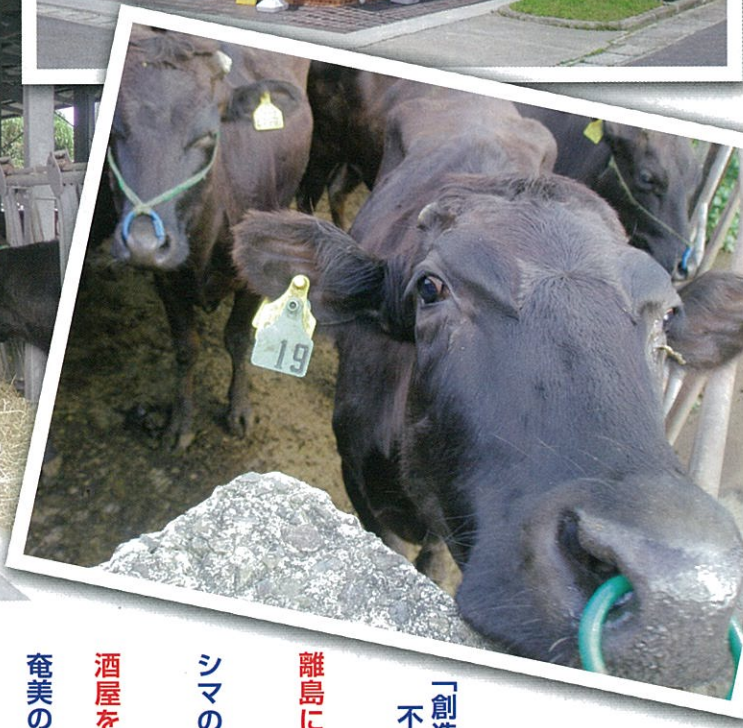


2008

Vol.5

4.5月号

里見海運産業株式会社
本社（塩浜町）



風通しの良い広々とした牛舎（名瀬小湊）

「創造と変革」

不況の時代を生き抜く挑戦

里見海運産業株式会社

離島に住んでいても一流の医療を

むかいクリニック

シマの笑顔

大笠利里前地区八月踊り勉強会

酒屋を超えた酒屋

瀬戸内酒販

奄美の「乗り物ドクター」

内山商事株式会社

もしもの時の大きな安心

青葉社互助センター

「あなたの町の全労済」

支庁通りに移転オープン!!

しっかり朝ご飯のすすめ

グリーンストア

奄美の「マイスター」

池田時計店

おすすめグルメ

奄美の居酒屋くん

ザ・理容師“森永”

カットサロントップワン

ご自由にお持ち下さい。

0円

「奄美から出す荷物は無いのか」苦悩する男の決意は、自らが荷物を創り出すことだった。人、物を運んできた企業が、物流の変化を見据え新しい歴史を作り出すべく大きく舵をきる。

ゼロからの出発「決意とやる気」

「素人だからここまでやってこれた」里見弘壽（ひろひさ）社長の開口一番の一言。「奄美から荷物を」と考え、農業をやることを思い立つと同時に、社員の定年後の職場の確保をもとめた。台風、ハブ、輸送コスト等



<生後5日目>の赤ちゃん牛

外海離島のハンデをクリアできる農業は何か？行き着いたのが、畜産「生産牛の飼育」だった。しかし、全く畜産経験の無い弘壽氏は、社員の泉昭人氏と共に飼育のイロハを学ぶことから始めた。教えてもらえる所も限られており、通信教育を受講したり、畜産先進地の宮古島などを見て周りノウハウを蓄積していくといった地道な努力が続けられた。全くの素人だから既成概念も無く、飼育方法を素直に一から習得していくことが出来たのが、今日の成功の原因だと分析する。「やれない理由を並べるよりも、決意とやる気が大切だ」ということを弘壽氏は語っている。

新たな歴史創造への挑戦

泉氏は「闘牛のイメージが強く、始めた頃は牛が怖くて触ることも出来なかった。赤い服は牛を刺激すると思っていた・・・(笑)」などと、当時を振り返る。弘壽氏は畜産農家が牧草の確保に苦心しているのを見て、当初から頭数を増やすことより牧草地の確保に専念した。今では小湊地区を主に12町歩の牧草地を確保しているが、始めた当初はまだ冬場の草が足りず、奄美に帰郷したばかりの弘壽氏の長男宮寿（みやひさ）氏をはじめ総務部長など事務職の人間も笠利町のサトウキビ畑に出向き、



牛を見る目は誰よりもやさしい 泉 昭人氏

飼料とするためのサトウキビのトップの回収に汗した。宮寿氏は「土砂降り雨の中や、ハブの恐怖と向かい合っただけの作業は本当に大変。また、回収後トップを短くカットする作業は目が回りそうだった。今思っても、あの作業はこれまで経験してきた仕

事の中で一番きつかった」と、立ち上げ時の苦労を懐かしむように話してくれた。平成4年、グループ会社として有限会社奄美農産を設立、3頭の飼育から出発した。現在のよう



<生後4ヶ月>半年後にはセリにかけられます

に生産牛の飼育が産業化する以前のことなので「社長の趣味か、道楽か？」と揶揄されることもあったが、今では常時親牛約100頭を飼育、年間に子牛を80~100頭出荷、セリ価格も上位にランキングされるまでになった。海の男が野を拓く、新たな歴史が始まった。

奄美の海に生きて60年余
里見海運産業株式会社は、初代里



「奄美の海運史」を知る唯一の生証人 里見 弘壽 社長

見宮熊氏が昭和2年名瀬港にて「はしけ荷役」を始めたのが前身。弘壽氏は小学生の頃から祖父宮熊氏の手伝いをしており、浅瀬に繋留する伝馬船の錨を下ろすために台風の海に潜り続けたことも。昭和21年、2代目社長となる弘壽氏の父宮貞氏が復員して社業を後継、ポンポン船（焼玉エンジン搭載）を名瀬から大和村、宇検村、瀬戸内、各離島、沖縄へと就航させ旅客定期航路を拡大。本土復帰後は貨物定期航路に変更し、鋼鉄船を2隻造船就航させるなど拡大路線をとるが、道半ばの昭和40年宮貞氏は52歳の若さで急逝した。その後を継いで、弘壽氏が3代目社長に就任、今年で43年目になる。同氏は、それまでも祖父、父とともに海運業に従事していたため、現在

では、戦前から現代に至る奄美の海運史を知る唯一の生証人と言われている。

変革！お客様のために

専務の宮寿氏は、アミューズメント業界トップメーカーの「バンダイ」・「バンプレスト」で、ゲーム機の音楽制作を担当するサウンド・プログラマーの仕事をしていたが、父の手助けをして社業を伸張させようと15



「新しい里見」へ挑戦を続ける 里見 宮寿 専務

年前帰郷した。現在は、刻々と変化する時代の流れを先読みした社業全体の変革と、個々の消費者ニーズに応えるべく「旅行業」「引越し業」の充実強化にも取り組む。「海運産業という社名からは想像してもらいにくいのですが、船舶はもちろん航空機の子ケットやホテルパック商品等の

予約・販売、またツアーの企画・募集・催行もするといった一般の旅行代理店業務や旅行業もやっています」と説明する。例えば、引越しの荷物を頼むと同時に、人間の移動の子ケットも頼めるといった便利さもある。「自社の業務機能を効率よく組み合わせることで、お客様により便利にお徳なサービスを提供することが出来る」と更に進化した業務スキーム作りにも挑戦する。既成概念に囚われず新たなことに挑戦する気概、個々の人間性の向上、意識改革などの必要性を宮寿氏は強調する。

奄美の海運、畜産業を牽引してきた里見海運産業。これからは「旅行の里見」「引越しの里見」としての顔もPRしていきたいと、あらゆる顧客に向けサービス向上に余念がない。



牛の妊娠期間は10ヶ月。人間と同じです。



「船の切符だけではなく、航空券の発売や旅行業全般やっていたんだ！」という多くのお客様のお声から、旅行部門を更に充実強化してまいりますので、切符一枚からでもお気軽にご利用、お声掛け下さい。



お気軽にお越しください (塩浜町本社 1F カウンター)

- 1 「引越しの里見」は、こんなことを提案します。
奄美初の「引越し定額パック料金制度」を導入します。運送会社から出来る低価格料金で喜ばれています。
- 2 市内間、本島内間、各離島間、奄美く本土間といった、いろんな引越しに対応します。
- 3 プロに任せて下さい。確実、安心、気遣い無し。
業者にも頼むと高くなるからと...
でも、友人や知人に頼むとこんなことが...
・食事やお礼の費用は？
・作業中にケガなどした時の対応は？
・運送途中の事故や破損の対応は？
・トラックや車をレンタルや借用すると、その費用は？
・一日で終わらなかつたら？
・予定した日が雨天だったら？
- 4 「旅行の里見」は、こんなことをしています。
御見積無料！お気軽にご連絡下さい。電話一本で参上します。
- 1 航空券、乗船券、ホテル券などの各種チケット・クーポン券の予約・販売
(JAL・JAL・RAC・ANA・ANKその他・マリックスライン・マルエーフェリー・フェリーとしま)
- 2 各種ツアー商品販売
(JALツアーズ・JALセールス九州・ANAセールス&ツアーズ・近畿日本ツーリスト提携店)
- 3 奄美発のJALホテルパック (往復航空券+ホテル) マリックスライン「ビジネス・クーポン」(往復乗船券+ホテル) 修学旅行、社員旅行、スポーツ団体などのツアー企画・コーディネート・添乗、他
- 4 オリジナルツアー「近くて遠い島 宝島・悪石島へ行こうツアー」の募集・催行 (毎年7~8月)
※行けそうで行けない、トカラ列島。空が低く思えるほど、みことな星空。大海原に黄金色に染まるビッグな夕陽。放し飼いの牛がのんびりと過ごす牧場と野生のヤギ。そして、潮騒。財宝が隠されているという宝島での釣り三昧。神々の棲む悪石島では夏ちよつと熱い温泉三昧(海中温泉から露天風呂など)時間を忘れて最高の贅沢を満喫できる、宝島に悪石島。調味料だけ持参、メインディッシュは自分で釣った魚。こんなプチサバイバル体験が、小さなお子様を持つご家庭に静かなブームとなっています。

里見海運産業株式会社

奄美市名瀬塩浜町17番5号 電話：53-3111 (代) / FAX：53-2411 (代)

貨物運送取扱業・一般港湾運送業・一般貨物自動車運送業・船舶代理店業 (クインコーラル8、クインコーラル、第12共進丸、フェリーみさき、第3南海丸、フェリーとしま)・航空旅客代理店業・旅行業・日本たばこ産業株式会社煙草取扱代理店業・建物賃貸業・引越し業

- 旅行部門 : 名瀬塩浜町 17-5 (本社 1F) 電話 53-3111
航空券・乗船券・航券券・宿泊券など旅行関係全般
- 新港切符売場: 名瀬塩浜町 2281 (新港待合所 2F) 電話 :52-5911
定期船「クインコーラル」「クインコーラル8」の乗船券・航券券等の販売
- 新港営業所 : 名瀬塩浜町 2281 (新港待合所 1F) 電話 :53-3113
定期船「クインコーラル」「クインコーラル8」の貨物・車輦の取扱い
- 佐大熊営業所: 名瀬佐大熊町 2427 (佐大熊埋立地上屋南側) 電話 :52-2251
貨物船・貨物フェリーの貨物・車輦の取扱い (共進組・共同組海運ほか)
- グループ会社 有限会社 奄美農産: 名瀬小湊 電話 :54-9955 (問合せ先: 53-8450)
(畜産業 子牛の生産、育成、セリ出荷)